

すべて満開に

さくら満開予想2010年

5月25日発表

さくらの開花予想日・満開予想日

		開花予想日	平年差	満開予想日	平年差
北海道	札幌	5月7日 開花済み	2日遅い	5月14日 満開済み	6日遅い
	稚内	5月22日 開花済み	6日遅い	5月25日 満開済み	6日遅い
	旭川	5月11日 開花済み	4日遅い	5月13日 満開済み	4日遅い
	網走	5月17日 開花済み	4日遅い	5月18日 満開済み	3日遅い
	釧路	5月19日 開花済み	1日遅い	5月22日 満開済み	同じ
	根室	5月18日 開花済み	2日早い	5月24日 満開済み	1日早い
	室蘭	5月14日 開花済み	6日遅い	5月18日 満開済み	6日遅い
	函館	5月5日 開花済み	2日遅い	5月10日 満開済み	3日遅い
東北	仙台	4月13日 開花済み	1日遅い	4月21日 満開済み	3日遅い
	青森	4月28日 開花済み	2日遅い	5月2日 満開済み	1日遅い
	秋田	4月24日 開花済み	5日遅い	4月28日 満開済み	4日遅い
	盛岡	4月25日 開花済み	2日遅い	5月2日 満開済み	5日遅い
	山形	4月19日 開花済み	2日遅い	4月25日 満開済み	4日遅い
	福島	4月9日 開花済み	2日早い	4月13日 満開済み	2日早い

詳しい解説

25日火曜日は、日本最北の地「稚内」で、今年最も遅く、桜が満開になりました。平年より6日遅く、昨年より13日遅い満開です。稚内が最後になるのは、1991年以来のことなんですよ。少し意外ですね。

さて、3か月ぐらい続いた「さくら満開予想2010年」も、これで最後です。長い間のお付き合い、誠にありがとうございました。また桜が咲くころにお会いしましょう！

満開日と満開期間をズバリ予想！

“さくら満開予想”2/8～提供開始

独自の手法を用いて、全く新しいさくらの情報をお届け

株式会社ライブビジネスウェザー（本社：東京都千代田区、代表取締役：石川勝敏 以下、LBW）は、これまで行われてきた桜の開花予想ではなく、お花見にとってより重要な桜の満開日を予想し、満開期間とともに発表する「さくら満開予想」を、2010年2月8日よりスタートいたします。LBWのHPサイト『みんなの天気予報』（<http://tenki.lbw.jp/>）のほか、報道機関にはFAXでも情報を提供いたします。

これまでの予想

2009年までは、気象庁により、桜の開花日が予想されてきました（右の表参照）。桜の開花とは、標準とする桜の花が5.6輪咲いた状態を言います。

開花日予想の問題点

桜の開花＝見頃（満開）と誤って認識しがちなこと、開花から満開までの期間が年によってまちまちで（右の表参照）、開花日に注目していても、結局見頃を逃してしまうこと等が挙げられます。

これまで（気象庁）は開花日を発表
桜の観測データ
（東京）

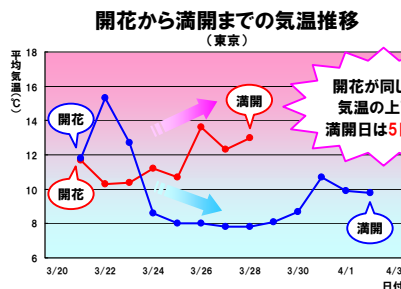
年	開花日	満開日	平均気温（℃）	満開までの所要日数
1991	3/30	4/8	11.2	9
1992	3/24	4/1	11.5	8
1993	3/24	4/2	12.1	9
1994	3/31	4/5	14.9	5
1995	3/31	4/7	12.7	7
1996	3/31	4/7	11.1	7
1997	3/21	3/30	11.3	9
1998	3/27	3/31	15.6	4
1999	3/24	4/2	11.4	9
2000	3/20	4/6	10.4	7
2001	3/23	3/28	13.7	5
2002	3/16	3/21	14.8	5
2003	3/27	4/1	13.4	5
2004	3/18	3/29	9.3	11
2005	3/31	4/6	12.5	6
2006	3/21	3/28	11.7	7
2007	3/20	3/29	13.2	7
2008	3/22	3/27	12.1	5
2009	3/21	4/2	9.8	12

開花から満開までの期間は年により異なる

開花から満開までは気温がカギ

2006年と2009年は、東京の開花日が同じ3/21でした。両年の開花から満開までの日平均気温の推移を比べてみましょう（右のグラフ）。

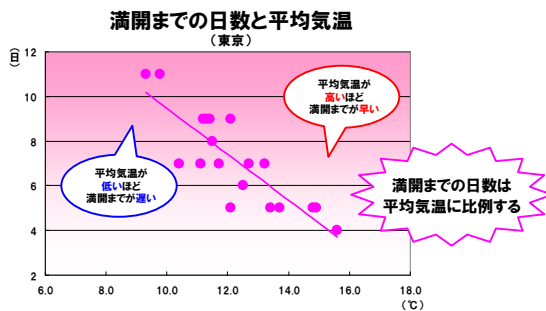
開花してからの日平均気温が高かった2006年は、満開までに7日しかかかりませんでした。一方で、開花してから、寒の戻りがあった2009年は、満開までに12日も要しています。



気温が高い＝満開まで早い

次に1991年から2009年までの18年間の、開花から満開までの日数と日平均気温との関係を見てみましょう（右のグラフ）。

日平均気温が高い年＝満開までの日数が短い、日平均気温が低い年＝満開までの日数が長い、ということになります。また、関東と東北で日数が異なるなど、地域によっても変わります。



よりよいお花見ができるよう、

LBWは、日平均気温に着目して、満開（見頃）になる日と満開（見頃）が続く期間を予想します。

LBW独自のさくら満開予想手法

桜地域ごとの予測モデルを構築

桜の満開には気温が最も重要であるため、LBWのさくら満開予想では、春先だけでなく、秋から冬にかけての気温も組み込んで、満開日をシミュレートしています。過去の満開日と気温との関係からの分析はもちろん、地域性を考慮するため、予想地点ごとの満開予測モデルを構築しているのが特徴です。これにより、桜の特性を導入でき、精度のよい満開予測を実現します。

桜開花してからは毎日更新

LBWでは、桜の満開について独自の予想手法を用いて、満開期間まで計算して提供します。特に、3月中旬(予定)からは、満開期間については、気象予報士の独自予想も考慮して、毎日リアルタイムに更新します。桜が満開になってからはどのくらい満開状態が持続するかは、気温よりも、風や雨の影響が大きいとされるため、それら気象要素を導入してお花見を最も楽しめる満開期間についても計算して、これまでにないさくら満開予想を提供いたします。

桜満開予想発表スケジュール

第一回の発表を2月8日に行い、3月15日までは毎週月曜日に最新の予想を発表します。

3月16日以降は、毎日予想を更新する事で、満開を迎える日、また満開の状態が続く(見頃)期間を、常に最新の情報から確認できます。

2月8日	1回目発表(関東～西の主要都市)
2月15日	2回目発表
2月22日	3回目発表
3月1日	4回目発表(関東～西+東北の主要都市)
3月8日	5回目発表
3月15日	6回目発表
・	15日以降、毎日満開予想更新
3月22日	13回目発表(東北+北海道主要都市)
・	・

桜さくら満開予想掲載場所

さくら満開予想は、LBWのサイト「みんなの天気予報」内で、2010年2月8日から提供を開始します。

みんなの天気予報 

<http://tenki.lbw.jp/> 2/8～提供開始

テレビ局、新聞社など報道関係機関を対象として、FAXにてさくら満開予想を提供する予定です。
ご希望の方は、下記のご連絡先までお問い合わせ下さい。

株式会社ライフビジネスウェザーについて

株式会社ライフビジネスウェザー(本社:東京千代田区、代表取締役:石川勝敏)は、秒単位で変化する気象情報を、建設業をはじめとして、流通業、健康産業、テレビ・ラジオ局など各産業のニーズに応じた方法やスタイルでお届けするエキスパートです。日々時代のニーズにあった「One to One の気象情報」の提供を目指しています。

お問い合わせ先

株式会社ライフビジネスウェザー 営業部(リリースについて) TEL:03-3234-6091 E-Mail:ishii-n@lbw.jp
株式会社ライフビジネスウェザー 気象予報部(予想について) TEL:03-3234-6092 FAX:03-3234-6095